
大月の
自然の中で
暮らそう

～大月移住ガイドブック～



大月市移住相談

大月について



大月市HP

どこにあるの？



大月市は、山梨県の東部に位置し、東は上野原市、南は都留市、富士河口湖町、西は、笛吹市、甲州市、北は小菅村に囲まれています。

首都東京は東に約75km、県都甲府市は西に約35kmの距離にあり、いずれもJR中央本線や中央自動車道、国道20号などの幹線交通網でつながっています。

さらに、これらの交通網と交差する国道139号や都留市・富士河口湖町へ向かう富士急行線などの分岐点に位置し、古くから交通の要衝となっています。

また、本市は富士山の北東約30kmに位置しており、富士山の景勝地としても知られています。

地勢は？

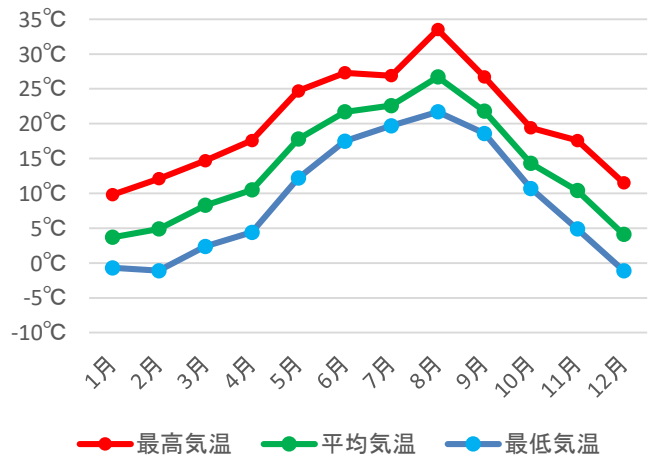
本市は、北・東・西に頂点を持つおおむね三角形をしており、最も高い場所は北部に位置する小金沢山で、標高は、2,000mを越えています。

市の南部には、富士山麓の山中湖に発した桂川や、その支流の笹子川が流れ、これとほぼ直角に真木川、浅利川、葛野川などが流入し、それに繋がる大小さまざまな支流とともに複雑な起伏を形成しています。



気候は？

本市は、表日本型気候（中央高原型）に属しており、夏は暑く冬は寒い気候で空気は乾燥し、降水量は少なく、晴天が多く、昼夜の気温・湿度の変化も大きいなど、激しい気候といえます。



大月市 2020年 月別平均気温

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温	9.8°C	12.1°C	14.7°C	17.6°C	24.7°C	27.3°C	26.9°C	33.5°C	26.7°C	19.4°C	17.6°C	11.5°C
平均気温	3.7°C	4.9°C	8.3°C	10.5°C	17.8°C	21.7°C	22.6°C	26.7°C	21.8°C	14.3°C	10.4°C	4.1°C
最低気温	-0.7°C	-1.1°C	2.4°C	4.4°C	12.2°C	17.5°C	19.7°C	21.7°C	18.6°C	10.7°C	4.9°C	-1.1°C

大月での暮らし

交通・移動手段

◇鉄道を利用した移動

<JR中央本線> 市内には6つの駅があります。

←甲府方面 ~ 笹子駅 - 初狩駅 - 大月駅 - 猿橋駅 - 鳥沢駅 - 梁川駅 ~ 東京方面→

- ◎大月駅は特急電車の停車駅となっています。
- ◎大月駅から新宿駅までの所要時間は、乗り換えなしで1時間30分、特急電車で1時間です。
- ◎大月駅から東京駅行きの始発電車が数多くあります。始発なら楽々座ってノンストレスの通勤、通学が可能です。
- ◎東京駅からの最終電車は、東京駅を23時14分発で、大月駅に0時53分に到着します。

<富士急行線> 大月は、富士山方面への始発駅です。
大月駅 - 上大月駅 ~~~ 富士山駅



◇自動車での移動

<中央自動車道>

- ◎大月インターチェンジ、高速バス停(猿橋・真木・笹子)があります。
- ◎大月インターチェンジから新宿までの所要時間は概ね60分です。
- ◎高速バスには、東京方面、甲府方面、河口湖方面へ向かう方法があります。

<国道20号・国道139号>

- ◎市内には、JR中央本線や中央自動車道と並行して市内を東西に走る国道20号と、富士急行線と並行し、大月から富士山方面へとつながる国道139号が通っています。

◇市内での移動

市内での移動には、民間のバス事業者による路線バスや、JR(6駅)、民間のタクシー会社があります。

大月市民は『渋滞』知らず!?

●中央自動車道では小仏トンネル付近を起点に、毎週末渋滞が発生しています。

しかし、大月市民は『渋滞とは無縁な暮らし』を送っています。大月では自家用車が生活の足となっていますが、その理由とは??

詳しくは移住相談窓口へお問い合わせください。キーワードは「タイムイズマネー(時は金なり)」

仕事を探す・起業する

◇ハローワーク大月 (☎0554-22-8609)

厚生労働省が運営する。就職支援、雇用促進のための公的な機関です。求人検索や雇用保険の手続き、求人のお申込み手続きや雇用保険・助成金、ハローワークなどの情報などのサービスを提供します。

◇ジョブカフェやまなし (☎055-233-4510)

カウンセラーによる就職に関するカウンセリングを中心に、職業適性診断や、就職に関する情報の提供のほか、就職セミナーや職業紹介など、若者の就職を総合的に支援します。

◇大月市空き家店舗活用事業補助金 (☎0554-20-1857)

市内の空き家や空き店舗を活用して起業する方に対し、出店時の店舗改修や看板等の設置に係る経費及び賃借料の一部を補助します。内装・工事費に要する経費の2分の1を30万円を上限(1回)に、店舗賃借料の月額分の2分の1を、月2万円を上限(1年間)に交付します。

◇公益社団法人東部広域シルバー人材センター 大月事務所 (☎0554-22-2900)

高齢者の生きがい充実と社会目的に、企業・家庭・公共団体から引き受けた臨時的・短期的または短時間の高齢者にふさわしい仕事に雇用ではなく、請負・委任により就業します。

◇特定創業支援事業を受けた創業者への支援 (☎0554-20-1857)

大月市で新たに創業する事業者を対象に、市が大月市商工会、市内金融機関等の支援機関の協力を得ながら、創業希望者を開業前から開業後まで、長期的に支援していきます。

大月での暮らし②

◇医療機関

市内の医療機関には一般診療所が19院、歯科医院が13院、大月市立中央病院があります。

大月市立中央病院は、地域の中核病院として、市民の健康保持と疾病の予防・治療に努め、良質な医療を提供し、市民に信頼される病院を目指しています。

平成26年3月に新病棟、平成27年3月には既存棟の耐震改修が完了し、より充実した医療を提供できる環境になりました。



地方独立行政法人
大月市立中央病院



◇買い物

市内にはスーパーマーケットが2か所、ドラッグストアがあります。大月駅を中心に商店街も広がります。商店街は猿橋地区にも。地場産野菜は農産物直売所でも入手可能で作り手との会話にも花が咲きます。その他、10店ほどのコンビニエンスストアも市内に点在しています。

また、近隣の大型ショッピングモールやアウトレットへのアクセスもよく、約1時間圏内に10店ほどあり、週末のお買い物も楽しめます。

◇金融機関

郵便局は9か所、金融機関は4店、ATMは21か所あります。

◇大月市の家庭ごみの出し方について

・各地区の自治会に加入し、地区が指定するごみステーションにごみを排出します。

・地区によって曜日は違いますが、可燃ごみは週3日の収集、不燃ごみは月1回の収集、リサイクルペットボトル、飲料用缶、白トレイ、ダンボール・雑誌は月2回の収集、粗大ゴミは「粗大ごみステーション」が設置されている地区にのみ月1回の収集となっています。

また、市内にある「まるたの森クリーンセンター」へごみを持ち込むことが出来ます。（平日 9:00~11:45、13:00~14:45 毎月第2・4土曜日及び第3日曜日 9:00~11:30）

暮らしを応援する施策

◇ふれあい農園（市民農園）

やながわ農園（梁川地区）とさるはし農園（猿橋地区）の2箇所です市民農園を開園しています。自分で手作り野菜を作ったり、畑を耕作することができます。

1区画あたりの貸付農地面積：40㎡

使用料：やながわ農園	市内在住者	年額8千円
	市外在住者	年額1万円
さるはし農園	市内在住者	年額7千円
	市外在住者	年額8.8千円



◇シルバー＆障がい者お出かけバス

路線バスでは、市内在住で高齢者（65歳以上）及び障がい者の方々を対象に、市内のあちらこちらに路線バスで出かけていただけるように、1年間5千円の負担で「お出かけ年間パス」を交付しています。お買い物や通院などの市内の移動のご負担を軽減します。

◇すこやか大月市健診（人間ドック）

国民健康保険に加入している方で、生活習慣病の発生率の高い年齢層の市民を対象に、計画的に人間ドックを行います。健診費用：1万3千円（自己負担分）

※暮らしを応援する施策や制度は他にもあります。
詳しいことは右のQRコードから市ホームページ内の支援施策一覧をご覧ください。
だか、移住相談窓口にお問い合わせください。

支援施策一覧
（大月市HP）



大月での住まい

住宅を探す

【市内の分譲地に新築する】

- ◇ 『岩殿ニュータウン分譲地』
(ゆりヶ丘地区)

最新情報はこちらから➡



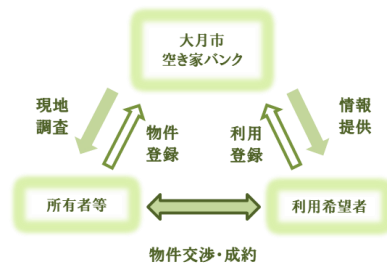
- ◇ 『パストラルびゅう桂台』
(桂台地区)

最新情報はこちらから➡



【空き家バンク制度を利用する】

自分の所有している空き家を「貸したい」、「売りたい」あるいは土地を売りたいなどのお考えをお持ちの方と、大月市で住宅または土地を探している方それぞれが、その情報を共有し有効活用を図る制度です。



制度及び物件の最新情報はこちらから➡



岩殿ニュータウン (ゆりヶ丘地区)

【市内の公営住宅に入居する】

市営住宅に入居するには「現在同居しているか、または同居しようとする親族があること」や「収入制限」などの条件があります。

市営住宅入居案内の詳細はこちらから➡



住宅関係助成金

【大月市定住促進助成金制度】

- ◇定住促進住宅取得助成金制度 (新築住宅取得助成)

大月市外の方が住宅を取得した場合、助成金を最高150万円交付します。

- ◇定住促進中古住宅取得助成金制度 (中古住宅取得助成)

大月市内の中古住宅を取得した場合、助成金を最高20万円交付します。

- ◇新婚世帯家賃助成金制度

大月市内の民間賃貸住宅を利用する新婚世帯に対し、家賃の助成金を月1万円、最長24か月間を限度に交付します。

- ◇転入子育て世帯家賃助成金制度

大月市内の民間賃貸住宅を利用する市外から転入してきた子育て世帯に対し、家賃の助成金を月1万円、最長24か月間を限度に交付します。

※助成制度は他にもあります。

各制度の要件など詳しいことは右のQRコードから市ホームページ内の支援施策一覧をご覧ください。移住相談窓口にお問い合わせください。

支援施策一覧
(大月市HP)



お住まいを決める前に知っておいてほしいこと

◇都市計画

大月市内には、都市計画法に基づき「都市計画区域」が設定されています。都市計画区域内で家を建築する際には、確認申請等の手続きが必要になります。お住まい予定の場所が決まりましたら、都市計画区域内か都市計画区域外か事前に確認しておきましょう。

都市計画に関する情報はこちらから➡



◇大月市ハザードマップ

大月市では、山梨県が指定した「土砂災害警戒区域」を基に、土砂災害ハザードマップを作成しました。マップをご確認いただき、日頃から土砂災害（がけ崩れ・土石流・地すべり）に対する警戒を行うとともに、大雨や台風時には早めの避難を心がけてください。

ハザードマップや防災に関する情報はこちらから➡



◇上下水道

上水道については、給水区域や簡易水道給水区域があり地区により異なります。また下水道についても地区により異なり、下水道整備区域と未整備区域（合併処理浄化槽により対応）があります。お住い予定の場所の上下水道について、事前に確認しておきましょう。

【上水道給水区域について】

大月市東部地域広域水道企業団HP



【下水道供用区域・簡易水道給水区域等について】

大月市HP



真木川

◇ガス

ガスは都市ガスの供給は無く、全域でプロパンガスの利用となります。器具によっては、お使いのものが使用できない場合があります。

◇テレビ

テレビの受信方法としては、主に「地デジアンテナ」、「光回線」、「ケーブルテレビ」の3つの方法があります。また、市内には地域によって、地域で共同受信施設（アンテナ）を設置し視聴する「テレビ共同受信組合」があります。お住まい予定の地域が、どの方法でテレビを受信しているか事前に確認しておきましょう。

◇インターネット回線

市内全域で民間事業者による高速・大容量のデータ通信が利用可能です。

◇地区の自治会について

各地区には自治会があります。自治会費（組費）については、自治会によって金額が違います。移住が決まったら、その自治会の区長や組長、ご近所へ挨拶に行きましょう。その際に、自治会費（組費）や年間行事、ごみ出し、暮らしの様子を聞いておきましょう。

子育てを応援する

支援施策一覧
(大月市HP)



◇妊婦オンライン相談

妊婦を対象に、新型コロナウイルス感染症に対する不安について、オンラインで無料相談ができます。

◇産後ママの安心相談室

生後1～4か月（5か月になるまで）の赤ちゃんとお母さんを対象に、保健師・助産師が相談に応じます。（育児相談、母乳に関する相談、体重測定、お母さん自身の体調の相談等）

◇大月市病児・病後児保育

仕事の都合などで病氣中・病氣回復期にあるお子さんの保育をご家庭で出来ない方のために、医療機関に併設された病児・病後児保育室「さくら」で、2歳～小学6年生までのお子さんを一時的に預けることができます。

◇子ども家庭総合支援センター

虐待、非行、不登校、気になる性格、その他お子さん（0歳～18歳未満）の事で悩んでいる皆さんからの相談を受け、一緒にその問題解決に努めます。

◇ファミリーサポートセンター

育児の援助を受けたい人と援助を行える人が、それぞれ会員となり、子育ての相互援助活動を行います。育児の援助を受けたい会員には費用負担が発生します。

◇大月市児童館

子どもたちに遊び場と遊びを提供し、遊びを通して児童が心身ともに健やかに成長するお手伝いをする場および親同士の交流の場です。子育てに関する情報の提供や、相談もお受けします。18歳未満の子どもなら誰でも自由に利用出来ます。

◇大月市学童クラブ

（※市内全ての小学校に学童クラブがあります。）

学童クラブは、市内小学校に就学し、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合、大月市在住の児童を対象に、施設を利用して適切な遊びや生活の場として、月曜日から金曜日の下校時から午後6時まで開設しています。

◇大月市放課後子ども教室

子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する様々な教室です。放課後や週末等に安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を行います。

教室名：織物体験教室、こんにちはクラブ（音楽教室）、イーゼルアクション（子ども造形教室）、レインボーKIDS（マーチングバンド教室）、箆子追分人形クラブ

◇幼稚園

満3歳から就学前までの子どもたちに幼稚園ごと特色ある教育を行う私立幼稚園が4園あります。

◇保育所・保育園

保護者が仕事や疾病等の事由により家庭で乳幼児を保育できないときに保護者に代わって保育する施設で、市内には、5つの公立保育所、私立保育園があります。

◇公立保育所による一時預かり事業

保護者の入院、看護、介護、勤務形態、リフレッシュなどの理由で、緊急・一時的に保育が必要な満1歳から就学前までの児童を市立保育所でお預かりします。



子育て支援・助成制度

支援施策一覧
(大月市HP)



◇このとり支援事業

市内に1年以上住所がある方で、医療機関で不妊症と診断され、その治療を行っている戸籍上の夫婦を対象に、不妊治療に要した医療費の一部を助成します。

◇母子手帳アプリ「子育てアプリ おおつき」

妊娠期から子育て期を通して、子育てに役立つ機能のアプリです。スマートフォン等から、家族でお子様の成長を共有できます。

◇妊婦一般健康診査

妊娠中の健康管理のため、医療機関で受ける健診を助成します。回数は14回、費用は1回につき6千円を限度として市が負担します。なお、6千円を超えた分については自己負担となります。

◇妊婦あんしんタクシー利用者助成事業

妊婦の方が出産のために、医療機関までの交通手段がない場合など、緊急にタクシーを利用した時の費用を1回の出産につき、1万5千円を上限に助成し、安心、安全な出産を支援します。

◇子育て支援手当

児童の増加を願い出生を奨励、子育てを支援するため、第1子以降の子を出産したときに支給されます。(第1子:3万円、第2子:5万円、第3子以降:10万円)

◇産婦健康診査

出産後のお母さんが安心して育児をするために心と体の健康状態を確認する(医療機関で受診する)産婦検診審査費用を助成します。

◇子育て支援医療費助成制度(医療費無料)

市内に住所のある0歳から高校生までの児童の保護者に、児童が病気やけがで通院・入院した場合の医療費、歯科診療費および薬剤費等を補助するもので、保険診療による自己負担金を医療費助成金として支給します。

◇ひとり親家庭医療費助成(医療費無料)

18歳未満の児童を扶養している、ひとり親家庭等の親と児童、父母のいない児童が、病気やけがで通院・入院した場合の医療費、歯科診療費および薬剤費等、保険診療の窓口での自己負担分が無料となります。

◇幼児教育・保育の無償化

令和元年10月1日より、3～5歳児クラスの幼稚園、保育所等の利用料が無償となります。

◇多子世帯・ひとり親世帯への保育料の軽減

平成28年度より多子世帯における保護者の経済的な負担の軽減を図り、少子化対策の一環として、山梨県の「やまなし子育て応援事業」を利用して、年収360万円以上～約640万円未満相当の世帯について、第2子以降の0・1・2歳児の保育料を無料化します。

◇大月市転入子育て世帯家賃助成金制度

市内の民間賃貸住宅を利用する市外から転入してきた子育て世帯に対し、家賃の助成金を月1万円を上限に、最長24カ月間交付します。(要件あり)

※助成制度は他にもあります。
各制度の要件など詳しいことは上記QRコードから市ホームページ内の支援施策一覧をご覧ください。
か、移住相談窓口にお問い合わせください。

大月で学ぶ

学校教育

大月市では、学校・家庭・地域がそれぞれの教育力を活かし連携して『しなやかでたくましい子ども』を育成することを目的とした「ふるさと教育」を進めています。

自然とのふれあい活動の推進、郷土の歴史や文化を大切にする教育、ボランティア活動の推進等を柱に、人とのふれあいを通して学ぶ「ふるさと教育」を基本として、それぞれの学校では、子ども達が地域の方々との交流を通して、たくさんのことを学んでいます。

地域を知ることによって郷土愛を育み、そして地域に誇りを持つ子供たちが育ち、その地域で育った子どもたちが、また、次の世代の子どもを育てるといふ広がりを感じています。



社会教育

大月市では、子どもから高齢者まで市民だれもが生涯にわたって学ぶことができ、生きがいのある充実した人生を送ることができるよう高齢者学級、成人学級等の開設や体育祭や弓道等の教室の開催によりスポーツによる体力の向上、上、健康の維持増進を図り家庭や地域住民のコミュニケーションの促進、地域社会の活性化の機会とし、基本理念である「生涯学習によるまちづくり、人づくりはまちづくり、まちづくりは人づくり」を推進しています。

支援制度

◇教育支援室

教育支援室では、子どもや保護者、教員の相談や指導をはじめ、学校で行っているふるさと教育を支援しています。子どもや保護者への相談活動では、教育相談員、教育活動指導員、特別支援教育指導員が、就学に関する相談や指導、小中学生の学習や友人関係など学校生活の悩みや課題の相談、保護者の子育てやしつけ等々の相談を行っています。

毎週月～金曜日の午前9時30分～午後4時まで、相談は無料、内容は秘密厳守です。

◇児童・生徒の就学助成制度

経済的な理由により就学が困難なお子さんをお持ちの世帯の保護者の方に対して、基準により認定された方に学用品費など学校に係る費用の一部を援助します。

◇児童生徒の登下校安全対策通学バス運行事業

路線バスの活用できる学校から概ね1キロメートル以上遠から通学する児童生徒に定期券を支給して、児童生徒の登下校の安全確保を図っています。

◇小林宏治育英奨学金

市内に住所のある方の子で、山梨県内にある高等学校から短大・大学に進学する奨学生として必要な資格を有する学生に対し、学資を給付する制度で、その生業を助け、将来社会の中堅となる人材を育成することを目的としています。

◇大月短期大学修学費用の軽減

市立大月短期大学では、修学費用を軽くするように配慮を行っています。特に市内在住者は市外在住者に比べ、軽減の割合が大きくなっています。

◇大月短期大学特別聴講生制度

市立大月短期大学では、大月市民の方々を対象に、大月短期大学の授業を特別聴講生として受講することができます。

支援施策一覧
(大月市HP)



大月市の公共施設

学校教育施設

※市内の小・中学校の施設は、全て耐震化されています。

【小学校】 5校

- ◇初狩小学校
住所：大月市初狩町下初狩1144
- ◇大月東小学校
住所：大月市大月2-7-43
- ◇七保小学校
住所：大月市七保町葛野2345
- ◇猿橋小学校
住所：大月市猿橋町伊良原48
- ◇鳥沢小学校
住所：大月市富浜町鳥沢1979

【中学校】 2校

- ◇大月東中学校
住所：大月市大月2-5-11
- ◇猿橋中学校
住所：大月市猿橋町猿橋567

【高等学校】 1校

- ◇都留高等学校
住所：大月2-11-20

【短期大学】 1校

- ◇大月短期大学
住所：御太刀1-16-2



大月短期大学

社会教育施設

【文化・教養施設】 3施設

- ◇大月市立図書館
蔵書：199,020点（令和3年3月現在）
図書：181,129点
雑誌：13,493点
AV資料等：17,891点

- ◇大月市郷土資料館
大月市のふるさとの歴史・民俗の一端を紹介

- ◇大月市民会館
大ホール757人収容・講堂250人収容・市民ギャラリー他



大月市立図書館

【スポーツ施設】 4施設

- ◇大月市総合体育館
二つのアリーナ、トレーニングセンター
- ◇大月市勤労青年センター
野球場・陸上競技場・テニスコート・体育館

- ◇大月市武道館
- ◇初狩憩いの公園サッカー場

【公園】 2施設

- ◇猿橋近隣公園
- ◇桂川ウェルネスパーク
平成19年3月に西ゾーン、平成21年3月には中央ゾーンがオープンし、現在は42.1haの広さがあります。



桂川ウェルネスパーク

大月を知る

大月の由来

旧大月町が合併3町5か村の中心に位置し、JR東日本（旧国鉄）中央線と富士急行線との分岐点にあたるため、大月の名称が京浜方面はもとより、全国的に広く知れ渡っているところからこれを市名と致しました。

また寛永10年（1633年）3月、農業振興のため完成した水路「五ヶ堰」付近に大槻（ケヤキの別名）が群生していたのを、誰言うことなく地区名の「大槻」と言うようになり、その後寛文検地の際、駒橋（今の大月橋）より見た月がひととき大きく見えたところから「大槻」が「大月」となったというのが大月の由来とされています。



市の花 「やまゆり」



大月市章



市の木 「八重桜」

大月の歴史

大月市は、桂川と笹子川の河川沿いに広がる河岸段丘に古くから集落が形成され、甲州街道の宿場町として、また養蚕・絹織物の特産地として発展してきました。

昭和29年8月に3町4村が合併し、山梨県で6番目の市として市制が施行され、翌9月にはさらに1村を合併して現在の大月市となりました。

昭和30年代を迎え、我が国の高度成長期とともに本市においても地場産業である繊維工業を中心に経済活動が活発化し、この時期に市立大月短期大学が開校しました。

昭和40年代後半のオイルショックの影響を受け、繊維工業や中小企業は次第に衰退し、本市の人口も昭和30年の41,412人から昭和50年には36,756人へと大きく減少しました。

この間、昭和44年に中央自動車道富士吉田線、昭和52年には同西宮線が開通し、また昭和61年には中央本線快速電車が大月駅へ乗り入れるなど、首都圏への通勤・通学時間は大幅に短縮されました。

併せて全国的にも経済の発展期に入り、戸建て住宅指向の受け皿として住宅地の開発が進められました。

しかし、景気の退潮とその後の長引く平成不況のなか、産業が停滞し、本市の人口も再び減少傾向となり、平成元年には、人口は、35,265人となり、平成20年には、3万人を割り29,765人と減少しています。

このような中で、計画期間を2027年度までとする大月市第7次総合計画では、基本理念を「信頼と協働のまちづくり」として、本市ならではの地域特性や特徴的な地域資源を生かし、市民と行政の協働と連携により、市民が郷土に対し誇りを持ち、未来に希望を持てるまちづくりを進めています。令和元年には、市制施行65周年を迎え、さらに、協働のまちづくりを進化させるため、市民と行政が一体となって次のステージを目指します。